

IWN2022での研究発表



目で見ると
海外論文発表

岩谷 孟 学*

Presentation at IWN2022

Key Words : Semiconductor, Rare-earth, Photonic crystal

<参加会議名> International Workshop on Nitride Semiconductors
<開催場所> Berlin / Germany
<渡航期間> October 09-14, 2022
<発表タイトル> “Improved Q-factors (> 10000) of III-Nitride-Based Two-Dimensional Photonic Crystal Cavities in the Red Region”

International Workshop on Nitride Semiconductors (IWN) は、2年に一度開催され、800-900人程の研究者が参加する、窒化物半導体関連の最大の国際会議です。2020年に開催が予定されていた本会議がCOVID-19の影響により延期されたため、2018年以來の開催となりました。今回で11度目の開催であり、会議内容としては、窒化物半導体の結晶成長・光物性評価・光デバイス応用・電子デバイス応用・ナノ構造など窒化物半導体の研究分野を網羅しています。本会議は、ドイツ・ベルリンで開催されました。次回の会議は、2024年にハワイで開催される予定です。

今回私は、GaN系半導体を用いて作製した、フォトニック結晶共振器と呼ばれるナノメートルサイズの光共振器の光学評価について発表致しました。発

表では、他の研究者から有意義な質問をいただき、本共振器の設計を基として、新たな応用可能性の提言をしていただきました。また本会議は、コロナ禍で研究生活を行ってきた私にとって、初の対面での国際会議でした。オンラインでの会議とは異なり、セッション間の休憩時間等で様々なバックグラウンドを持つ学生や研究者と交流することができ、研究者ネットワークの拡充において大変有意義なものとなりました。

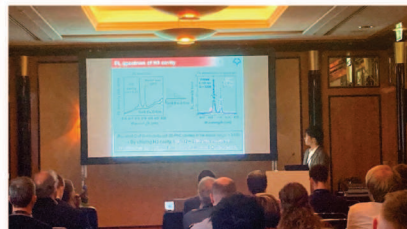
最後に、本研究内容に関してご指導いただきました先生方に感謝申し上げるとともに、ご支援賜りました生産技術振興協会に御礼申し上げます。



会場の風景



発表の様子1



発表の様子2



* Takenori IWAYA

1998年1月生まれ
大阪大学大学院 工学研究科 マテリアル生産科学専攻 博士前期課程 (2022年)

現在、大阪大学大学院 工学研究科 マテリアル生産科学専攻 藤原研究室 学生 (博士後期課程1年) 修士 専門/半導体

TEL : 06-6879-7548

FAX : 06-6879-7536

E-mail :

takenori.iwaya@mat.eng.osaka-u.ac.jp